

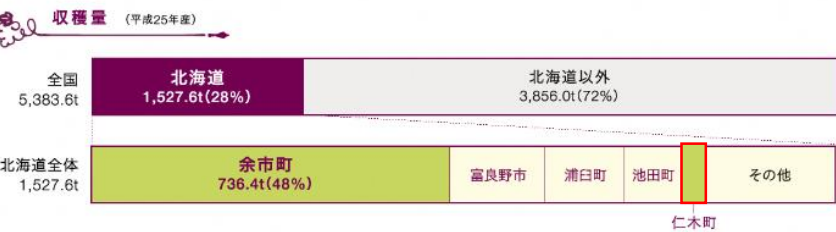
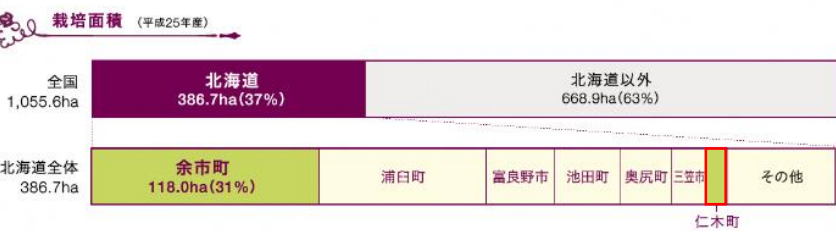
取組事例 ワインツーリズムによる交流人口の拡大と関連産業の創出 (余市町、仁木町)

果樹栽培に適した気候に恵まれた余市町、仁木町では、近年ワイナリーの開設が相次いでおり、両町が連携したワインツーリズムによる交流人口の拡大を図るとともに、関連産業の創出による地域経済の自立促進を目指している。

関連数値目標・KPI

		基準値 (H26)	実績 (H28)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
ワイン用ぶどう 栽培面積 (ha)	余市町	120	126	140	90%
	仁木町	7.5	17.6	50	35%
ワイナリー数の 件数 (件)	余市町	5	9	10	90%
	仁木町	1	2	10	20%

ワイン用ぶどう生産状況



(余市町調べ)

余市町は、ワイン用ぶどうの作付面積が北海道一であり、平成23年には「北のフルーツ王国よいちワイン特区」に認定されている。

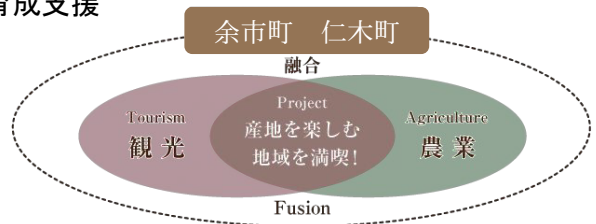
取組事例

余市・仁木ワインツーリズム・プロジェクト

ブドウ畑を訪れ、ワイン造りの過程に触れ、ワインに関わる人々と出会い、その土地の風土や文化を感じてもらおうワインツーリズムにより、国内外からの流入人口の拡大とワイン産業の振興を目的に、余市町と仁木町が連携して実施



- 主な取組
 - 余市・仁木エリアのワインツーリズムの推進によりワイン産業の振興を図ることで、地域ブランド力を確立し、ワイン関連の仕事を創出する好循環を作る。
 - ・モニターツアーの実施
 - ・ワインと食のマッチングイベントの開催
 - ・メディア媒体を活用したPR展開
 - ・ワインツーリズム実施環境の整備
 - ・担い手の育成支援



ワイン産業に関連する生産者、事業の拡大により、第一次産業の担い手確保、地域経済の自立促進につながっている。